

東京教区時報

第1169号
2010年6月13日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代禱・信施奉献先
▽沖繩週間(6・20〜26)▽東京教区神学生のため(聖霊降臨後第2主日6・6)▽沖繩教区のため▽野宿生活者の休息施設のため(きぼうのいえ)▽エリザベスサンダースホームのため
◆とこしえの平安
2月12日 芳賀 巴真(104)
聖テモテ
4月28日 小橋 寿子(90)
聖ペテロ

◆教役者レクイエム
6月16日(水)10時半
主教座聖堂
説教 河野裕道司祭
▽伝道師梅本惣吉▽司祭秋山基一▽伝道師山口千里▽司祭山縣与根二▽司祭東信行▽司祭山縣雄杜三▽伝道師伊木久次郎▽司

今週・来週の予定 6月13日~26日

- | | | | |
|-------|------------------------------|--|--|
| 13(日) | 聖霊降臨後第3主日
主教巡回
聖バルナバ教会 | 祭宅間信基▽司祭寺井俊健▽伝道師山田チヨ▽司祭堀正一▽司祭山崎正雄▽司祭大野俊朗 | ▽聖バルナバ教会カントリーミュージック&カントリーダンス 19日(土)13時半、同教会。入場無料。同日11時半からガレッジセール。照会☎090(1263)4750・担当者。 |
| 14(月) | 人権委員会
フェスタ(イベント) | 茨十字教会。講師▽佐藤礼子(聖パウロ教会オーガニスト)。会費 | ▽講演会と炊き出し支援ボランティア説明会 19日(土)13時半、目白聖公会ホール。照会先☎03(3203)0372 NCC 飯島幹事あて。 |
| 15(火) | 山手G牧師協議会
常置委員会 | 21日。照会☎044(866)2 | |
| 16(水) | 教役者レクイエム | | |
| 17(木) | 城南G牧師協議会
フェスタ(礼拝) | | |
| 18(金) | 礼拝音楽委員会 | | |
| 20(日) | 聖霊降臨後第4主日
主教巡回
聖オルバン教会 | | |
| 21(月) | 教役者宿泊研修会
(~23日) | | |
| 22(火) | 銀座朝拝会 | | |
| 24(木) | 財政委員会
公開説教 | | |
| 25(金) | 正義と平和協議会
運営委員会 | | |
| 26(土) | フェスタ連絡会 | | |

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

その人は笑顔で迎えてくれた。顔を見るなり、心中を明かした。「もう、だめかもしれない、でも穏やかなの。怖い、でも穏やかなの」と。そしてとろとろとまじろんだ。寝顔を眺めながら緊張がほどけるのを感じた。しばらくして目が覚めた。今度は「死んだらどうなるの」と問われた。突如、強烈なパンチを浴びた。ありきたりの言葉しか出てこなかった。不覚を取った。以来、重い宿題が心を占めた。何かにつけて、彼女の心に届く言葉を求めた。いや、自分自身が満たされる言葉が欲しかったのかもしれない。

《み手のなかで》
死んだらどうなるの？

司祭 山口千寿

き物の気配など何処にも感じられない。森の木々も枯れ木のように。シーンと静まり返った白と黒とだけの世界だ。
ところが突然、動物たちがみんな目を覚ます。「みんなかけてく。みんなはなをくくん」。駆けつけた先には、「うっふっふっ」、笑みがある。「うわあい!」、踊りがある。んっ? 「ゆきのなかに おはなが ひとつ さいてるぞ!」
黄色の一輪の花がほのかな香りを放つ。風に運ばれて動物たちの目を覚ませる。その香りに誘われ集められ、喜びが躍動する。これはキリストの香り! 新たな命が放つ香り! そう読んでも、きつとこの絵本の作者は許してくれるだろう。

そんな中、たまたま、40年ぶりに一冊の絵本を手にした。『はなを くくん』。これだ、と思った。真冬の森の中、動物たちは、みんな冬ごもりをして眠っている。一面雪に覆われて、生

この絵本のことを思い出すことが遅すぎた。彼女と一緒に読むことはできなかった。送る言葉としたが、それもパラダイスには要らないだろう。(聖、パウロ教会牧師)

正義と平和協議会

運営委員会報告(5月28日)

* 管区・正義と平和担当者会議(7月)には大畑議長が出席。

* 日本聖公会総会報告。

* 合同委員長会報告。

* 渋谷・浅草給食活動現状報告。

* 神戸教区広島平和礼拝2010参加募集案内を教役者宛送る。

* 韓国社会宣教の旅参加者の件。

* プレ宣教協議会の件。

* 7月17日開催のシンポジウムについて確認。

* 運営規定の一部改正(運営委員1名増員など)の件。

* その他

▽東京聖三一教会講演会「ロケットの飛翔」講師＝中島俊(元内之浦宇宙空間観測所所長・ロケ

ット工学の権威)。20日(日)14時。照会Ⅲ03(3421)3646・同教会。

▽聖職試験公開説教 聖職試験委員会(長・高橋頭司祭)主催

で、司祭試験の一環として6月24日(木・洗礼者聖ヨハネ誕生日)19時、聖アンデレ主教座聖堂の夕の祈りで公開説教が行われる。説教者(司祭志願者)は大森明彦執事(八王子復活教会牧師補)と中村淳執事(東京聖マルチン教会牧師補)。来聴歓迎。

▽聖公会神学院聖書セミナー

《聖書の深みへ共に旅をする》神の創造であるパートナシップをめぐって。同院で続けてきた「女性神学セミナー」の名称をあらため、当初から大切にしてきたパートナーシップを

タイトルに掲げて再開。7月3日(土)から年内全7回(会費8千円)10時半～12時半。申込期限Ⅱ6月25日。照会Ⅲ03(3701)0575・同院。

▽速水敏彦司祭が生前に北関東教区の聖職養成神学塾で行なわれた新約聖書の授業をまとめた『ヨハネ福音書略解ほか』が北関東教区より出版された。内容は講義資料として準備された『ヨハネ福音書略解』『ルカ福音書レジュメ』また講義の中で行われたギリシャ語の用語解説『聖書ギリシャ語の視点』の三部をひとつに。現在、東京教区事務所において1部千円で頒布されている。北関東教区廣田主教からは特に聖職の方に読んでいただきたいとの要望がある。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】50

日本聖公会第58(定期)総会報告

信徒代議員の一人として出席してきました。合計31の議案は結論としてすべて賛成多数で可決承認されました。字数の都合で克明な報告はあきらめて主なテーマを個人的な感想をまじえて述べます。

2日半におよぶ詰めた議論は、それぞれの議員の真正面からの真摯な発言ばかりで、怒号は勿論、皮肉や「ためにする質問」などないまじめなものでした。その意味で開会時に来賓のNCC(日本キリスト教協議会)書記の上田博子牧師が挨拶で述べられたように「健全で祝された総会」に終始できたのは

誠に喜ばしいものでした。

25日の午後は各委員会や検討デスクからの報告を承認する時間に当てられ事前配布の報告書を読んできただけではわからない点の補足説明がありました。後で審議される議案の中で特に重要だと思われる案件については、報告の時間にも議案に至った背景が説明されたわけです。

感想ですが、礼拝委員会報告に質疑が多かったこと、青年委員会への報告や「平和宣教教育活動資金の新設議案」などで中高生や青年に対する期待と配慮が目立ちました。2日目の朝からの議案審議については恒例の議案や継続的な公持の確認議案、委員会の継続を承認する議案などの他、じっくり議論したもの

など濃淡があります。重要テーマである「教役者給与調整デスク」関連や「教区間協働担当デスク」関連の案件などは二総会期(4年)にまたがるテーマだけに中間報告に過ぎず、更にアクセルを踏み込んだ委員会での議論とあわせ、教区レベルでの議論や広報が必要だと感じました。2012年の宣教協議会の議案も可決されましたが、その前に今年8月18～20日のプレ宣教協議会の成功と教区を挙げてのその後の準備が求められます。3日目は決算・予算の議案のみを審議しました。年金問題、収益事業関連など、資金の不安は多い現状ですが、委員会のメンバーへの期待を強くしました。総会代議員 松田正人